

NEWS RELEASE

POLA MUSEUM ANNEX

PO22R068

2010年12月7日

若手実力派のイタリア人アーティスト 日本初の展覧会 「ヴァレリオ・ベッルーティ展 -KIZUNA-」1月22日(土)より開催

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座1丁目)では「ヴァレリオ・ベッルーティ展 -KIZUNA-」を2011年1月22日(土)から3月13日(日)まで開催いたします。

ヴァレリオ・ベッルーティは様々な受賞歴を持ち、昨年はヴェネチアビエンナーレにも出品した若手実力派のイタリア人アーティストです。

彼の作品はイタリアの伝統的なフレスコ画の技法を用いて描く絵画作品から、約300枚ものドローイングで構成されるアニメーション、彫刻やレリーフといった立体作品まで多岐に渡りますが、作品の多くは子どもがモチーフとなっています。彼が表現する子どもたちの眼差しは優しく、もの思いにふけたような遠くを見つめる仕草は、慌ただしい現代社会で忘れかけた何かを我々に静かに訴えかけてくるかのようです。

日本初の展覧会となる今回、日本の子どもたちを描いた作品を展示したいという彼の思いから、約2ヶ月間、都内のレジデンスに滞在し、近隣の小学校のご好意により、生徒さんたちをモデルに制作を行いました。また、彼が今まで作品に使用したことがない色、赤と黒を使った新しい試みの作品も併せて展示します。彼にとって赤と黒は、漆器などにみられる日本古来の伝統文化を象徴した色彩であり、日本文化や日本の様式美をリスペクトする思いから、これらの色が印象的に用いられています。

日々の生活で出会った人々との交流や街やモノとの出会いなど、彼が様々な場面を通して感じてきた日本との絆や日本への思いが、作品に深く表現されています。



《KIZUNA》2010年

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】 ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 03-3563-5501

|| 展覧会概要 ||

展覧会名	「ヴァレリオ・ベッルーティ展 -KIZUNA-」
作品点数	78点(予定)
会期	2011年1月22日(土) - 3月13日(日)【51日間】*会期中無休
会場	ポーラ ミュージアム アネックス 〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階
アクセス	東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分 JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分
主催	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
後援	イタリア大使館
特別協力	杉並区立桃井第四小学校 遊工房アートスペース
開館時間	11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)
入場料	無料

|| 作家略歴 ||

ヴァレリオ・ベッルーティ

Valerio Berruti

1977年、トリノ・ピエモンテ州アルバ生まれ。
トリノ・ドムスアカデミーで、美術評論を学ぶ。
ヴェルドゥーノにある17世紀に建てられた朽ち果てた教会を買い取り、修復してアトリエ兼自宅とし、1995年からそこでアーティストとして活動している。



|| 近年の展覧会実績 ||

2010年	ミラノ(イタリア)・セテリーネ財団にて「Una Sola Moltitudine」展開催
2009年	ベニス(イタリア)・ヴェネチアビエンナーレにてイタリア館グループ展出展
2008年	ヘイリ(韓国)・クムサンギャラリーにて「Magnificat」展開催 パリ(フランス)・ポンピドゥーセンターにて「Detour」展出展
2007年	ベオグラード(ユーゴスラビア)・第48回オクトーバーサロンにて 「Micro - narratives」展出展 ニューヨーク(アメリカ)・シーラス マルダーギャラリーにて 「The big show」展出展
2006年	トリノ(イタリア)・ブリケラシオ城にて「Se ci fosse la luna」展開催
2005年	ニューヨーク(アメリカ)・エッソギャラリーにて「Golgota」展開催など、 個展・グループ展とも多数

|| 広報用画像 ||



広報用画像①
《KIZUNA》 2010年



広報用画像②
《sisters》 2007年



広報用画像③
《the girl and tree》 2008年



広報用画像④
《Una Sola Moltitudine》 2010年



広報用画像⑤
《erimoto》 2010年